



八市企第192号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 様

八代市長 坂田孝志



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号でありましたこのことについて、別紙のとおり回答いたします。

問合せ先
八代市企画振興部
企画調整課調整係
TEL：0965-33-4104（直通）

今後の道路政策や道路の整備・管理に関する八代市の意見について

今後の道路政策について

道路政策に対しては、無駄な道路が造られている、コスト高になっている、といった批判があるが、現実には交通渋滞の解消や交通事故対策、バリアフリー化や環境対策など、道路へのニーズや課題は大変大きなものである。

また、これまで道路整備は、効率性等の観点から都市部に先行投資されてきた経緯があり、地方部の整備は圧倒的に遅れていることから、都市部と地方部の経済的な格差を拡大させている要因の一つとも考えられる。

更に、地方部は都市部よりも道路関係諸税等の負担割合が重い状況となっており、まさにこれからが地方部において遅れている道路整備を本格化させる時期にある。

一方、地方においても、当市のように、国の市町村合併推進施策に則り、地方行政の効率化を図るため合併という大きな決断を行ない取り組んできたところであり、真の地方分権を進める上でも、地域経済発展等のための道路整備やライフラインとしての必要なネットワーク確保並びに災害時の避難路・救援路整備などが緊急かつ重要な課題である。

今後とも、国・県には、道路整備全体としての必要な財源を確保した上でより一層の地方部における道路の整備方をお願いするとともに、特に地方への財源確保をお願いしたい。

- ① 都市部と地方部では、道路整備率等において、大きな格差があり、そのことが経済格差に結びついている要因でもあることから、今後は、地域間格差の是正へ向けて、対応方をお願いしたい。
- ② 真の地方分権を進めるためにも地方への財源確保、特に、合併市町村には特段の配慮方をお願いしたい。

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

(1) 道路整備について

本市は、平成17年8月1日に1市2町3村が合併して、1年9ヶ月を経過したところである。

現在、新市建設計画を基に、行財政改革や総合計画の策定に取り組んでいる最中であり、その中で、道路整備について検討を行なっているところである。

本市においては、次のものが重要な施策と考えている。

①合併支援道路ネットワークの推進

- ・ 県道小川八代線
- ・ 都市計画道路「南部幹線」
- ・ (仮)東西連絡道路
- ・ (仮)南北アクセス道路
- ・ 県道中津道八代線
- ・ その他国・県道

②中心市街地活性化を支援する市街地道路整備の推進

- ・ 一方通行道路の相互通行化
- ・ 「スポーツセンター線」等の都市計画道路の整備 等

③九州新幹線新八代駅周辺や八代港、内陸型工業団地等地域的な拠点による産業活性化のための道路ネットワークの推進

- ・ 八代から熊本方面への国道3号の4車線化
- ・ 県道新八代停車場線
- ・ 都市計画道路「西片西宮線」の整備 他

④八代市の主要な観光資源である平家の里・秘境五家荘へのアクセス道路の整備(1.5車線でもよい、早期に改良)

- ・ 国道445号
- ・ 県道小川泉線 他

⑤広域的なネットワークの整備

- ・ 南九州西回り自動車道の早期完成 他

⑥地域活性化のための道路ネットワークの推進

- ・ 天草の災害時の代替路を確保し、天草と県南各圏域(芦北・水俣、人吉・球磨、八代)を結びつける「八代天草架橋構想」の推進
- ・ 環八代海市町村の連携交流を強化する「八代海沿岸道路構想」の実現

(2) 道路管理について

道路管理についても、総合計画の策定に併せ、市道（2, 184路線、延長約1, 658 km）及び里道の道路管理についての検討を行なっているところである。

本市においては、次のものが重要な施策と考えている。

- ① 高齢化率が高い八代市においては、高齢者等交通弱者支援対策として、やさしい道づくりの推進
 - ・ 狭隘道路の整備
 - ・ 中心市街地でのバリアフリー化や快適な歩道整備 等
- ② 災害に強い安全な道づくりの推進
 - ・ 適正な維持補修と橋梁の延命及び耐震化
 - ・ 山間部における法面保護強化の推進 等
 - ・ 電線地中化（特に中心部）
- ③ 健康宣言都市として、健康に寄与する快適な歩行者空間の道路ネットワークの推進
 - ・ 緑の回廊線の整備
 - ・ 球磨川や前川における快適な歩行者空間の場としての河岸整備 他

(3) 安全・安心を支える道路について

本市は、台風の常襲地帯にあり、一昨年（平成17年）には台風14号により、宮崎県境へ通じる市道が寸断され、当市泉町五家荘地区の一部集落が孤立し、昨年（平成18年）は、梅雨前線豪雨などにより国道3号、219号、県道中津道八代線等が一時通行止めになり住民の一時的な孤立や避難を余儀なくされるなど例年のように被害を被っている。また、本市には日奈久断層があり、大規模な地震災害の発生への備えも必要となっており、災害時における避難路・救援路の確保及び救急車両の通行確保など、市民の安全安心の確保が重要な課題となっている。

本市においては、次のものが重要な施策と考えている。

① 災害時避難路等の確保

例えば、国道が通行止めとなった際の県道を代替路として機能させるなど、国道、県道、市道のネットワークが相互に代替性を確保できるように整備する。

- ・ 国道219号と県道中津道八代線
- ・ 国道3号と二見田浦線 他

②広域的な救援路等の確保

- ・南九州西回り自動車道の早期完成（再掲）
- ・九州縦貫自動車道と南九州西回り自動車道JCTの改良（水俣方面から球磨方面へ直接通行可能とする。）

③緊急車両の円滑な通行確保

- ・中山間地の市道等の整備
- ・住宅地における道路後退の確保 等

④安全面からの街路灯の確保

⑤踏切の安全確保と渋滞解消

- ・踏切を減らし跨線橋の推進
- ・交互通行しかできない踏切1本線の2本線化

（4）その他の道路（林道政策）について

木材価格の低迷は、外材輸入が80%を超える中で、今後も改善する見込みは少なく、林家所得の向上に向けて、基盤整備推進による生産コストの低減化を図る必要がある。

そこで、今後とも国及び県補助事業の積極的な活用により、林道、作業道等の基盤整備を推進する。

また、路面管理及び付随する排水施設、ガードレール・カーブミラーなどの修繕、立替など、車輛の通行の安全と災害発生頻度の減少を図り、森林整備活動などに支障を来さない状況を保つこととしている。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

① 既存の高速・高規格道路の有効活用

- ・九州縦貫自動車道：坂本PAのスマートIC化
- ・九州縦貫自動車道と南九州西回り自動車道JCTの改良（水俣方面から球磨方面へ直接通行可能とする）（再掲）
- ・南九州西回り自動車道の全線無料化（八代インターから日奈久インター間の国道3号の交通混雑解消）

②関係省庁との連携による効率的な道路整備（農道・林道等）

既設の農道・林道においても、農村・山村の産業基盤のみならず、生活道路と一貫して広範囲の住民に利用されている現状である。

今後、環境等の整備を図る為には、国・県道等とのネットワークが形成される事が重要である。

例）県道坂本人吉線と林道坂本山江線

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

①補助金・交付金の増額と対象事業枠の拡大（採択要件の緩和）をお願いしたい。

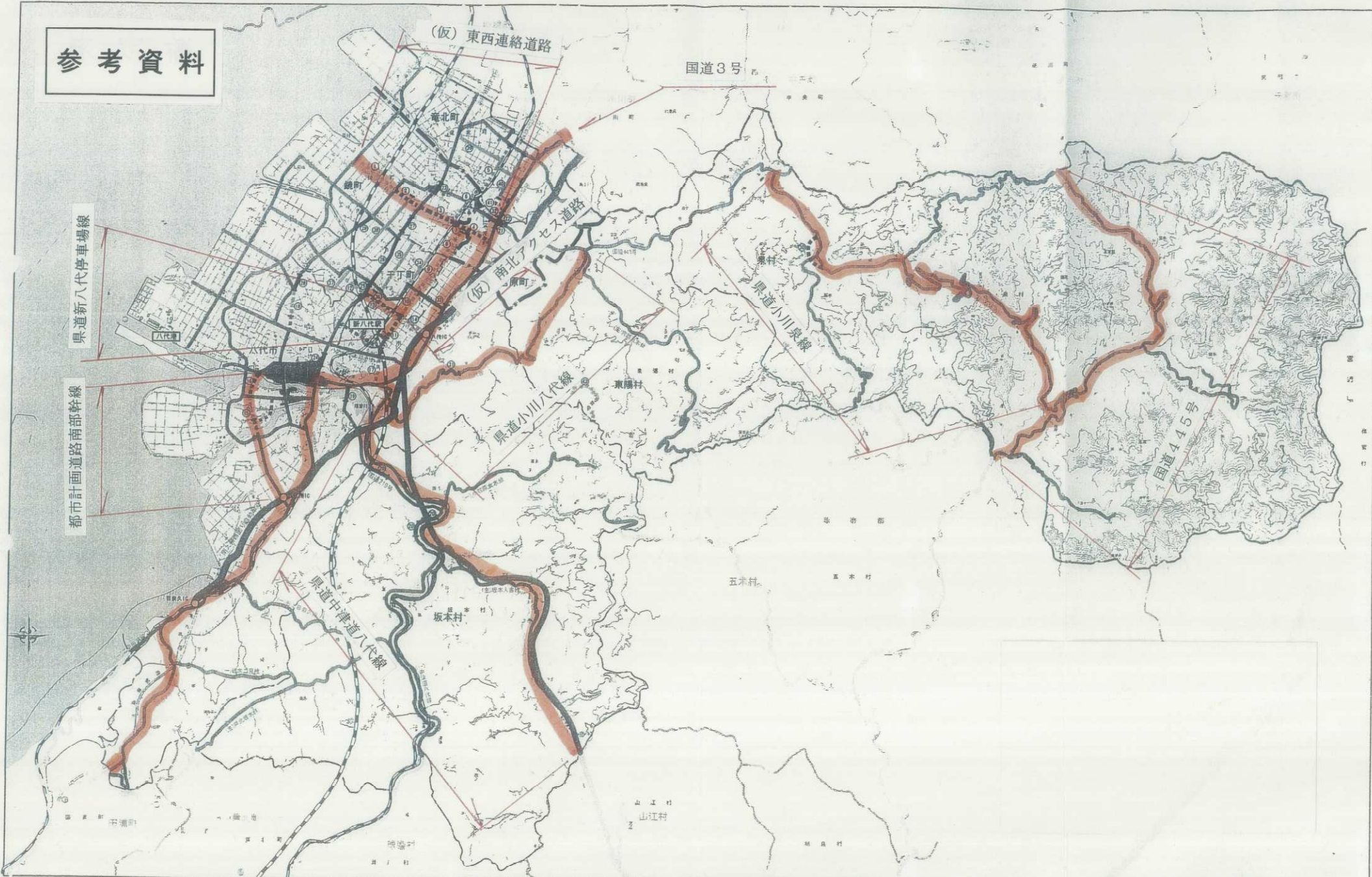
- ・道路や橋梁の維持
- ・管理に対する補助制度の創設

②案内表示（住所、地番）を充実

参考資料

県道新八代停車場線

都市計画道路南部幹線



■ 合併支援道路の整備計画案